

取扱説明書

OP-MDS1

6SS2344

本製品は、対象機器のみでご使用になれます。
対象機器については弊社ホームページをご確認ください。
(<https://www.yupiteru.co.jp/>)

使用方法・動作につきましては接続機器の取扱説明書をご確認ください。

各部の名称と働き



付属品

- 延長ケーブル (約8m) 1
- ブラケット 1
- ネジ (M3×10) 1
- 六角レンチ 1
- 両面テープ 2
(灰色× 1、透明× 1)
- 取扱説明書
・保証書 (本書) 1

安全上のご注意

- 電波法に関する注意
 - ・ 本体の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると電波法により罰せられることがあります。
 - ・ 海外では使用しないでください。
 - ・ 分解したり改造したりすることは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。
- 取り付けに関する注意
 - ・ 対象機器以外とは接続しないでください。
 - ・ 本体正面 (電波送信方向) に内装部品などがある場合、検知できません。
 - ・ 本製品の取り付けによる車両に変色・変形 (跡が残る) に関し、当社では補償いたしかねます。
- 使用に関する注意
 - ・ 強い雨が降ったときや、周囲の環境や人・周囲の車両の移動などにより検知する場合があります。
 - ・ 周囲の草木等の揺れにより検知する場合があります。
 - ・ 電波の透過率が低いガラス (金属コーティングの断熱ガラスなど) や車両の窓ガラスにフィルムが貼ってある場合に、材質によっては検知できなくなったり、感度が低下する場合があります。
 - ・ 窓ガラスに雪が積もっていると、検知できにくい場合やできないことがあります。
 - ・ 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると影響を与えたり受けたりすることがあります。
 - ・ 整備や車検などで車両を第三者に預ける場合は、車両停止 (ACC OFF) 後、接続機器の設定によっては駐車監視が行われる旨をお伝えください。

仕様

電源電圧	DC5V (接続機器から給電)	
消費電流	平均約 2mA (DC5V)	
マイクロ波センサー	適合技術基準	特定小電力無線局 移動体検知センサー
	センサータイプ	ドップラーセンサー
	発振周波数帯	Kバンド 24GHz 帯
使用温度範囲	-10℃ ~ +60℃	
外形寸法	40(幅)×19(高さ)×37(奥行) mm (突起部除く)	
本体重量	約 35g (付属品含まず)	

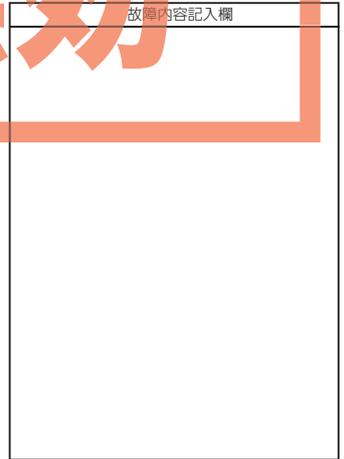
保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容 (下記規定) で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 OP-MDS1	
シリアルNo.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。 対象部分 機器本体 (消耗部品は除く)
保証期間	お買い上げの日から 1 年
お客様ご住所	様 TEL ()
販売店	店名 住所

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源 (電圧、周波数) や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 付属品および消耗品の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.



※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

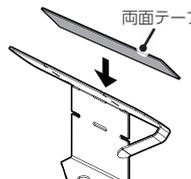
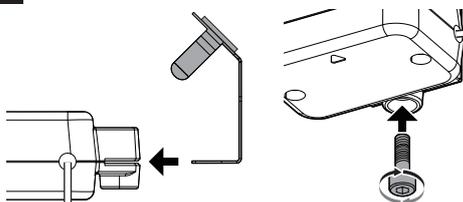
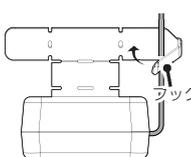
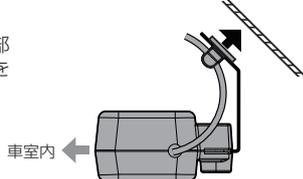
※ 修理品の取り付け・取り外しにかかる費用は補償いたしかねます。

最大検知範囲<イメージ>

- ※ 下記のイラストはあくまでイメージです。車両の構造や周囲の環境等によって検知範囲は異なります。
- ※ 接続する機器の設定で感度の変更ができます。
- ※ ボディタイプ (セダン/ワンボックス/SUV等) ・取付位置・内装品形状 (ヘッドレストや座席等)、ピラー形状の影響により検知できない場合があります。
- ※ 本機の正面近傍や周囲に車両の内装物等電波を遮るものがある場合は検知範囲に影響を及ぼす場合があります。

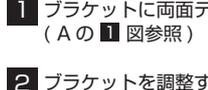
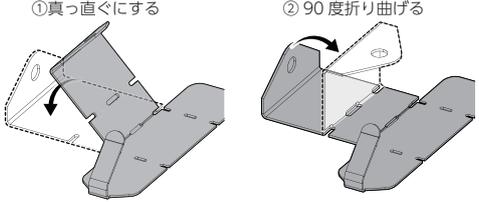
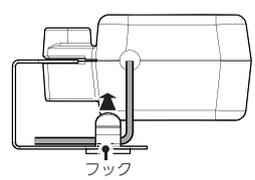
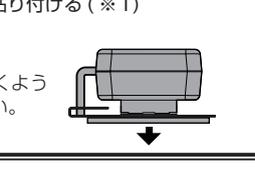
	リアガラス取り付け時 (★推奨)	フロントガラス・ルームミラー取り付け時
セダン		
SUV		
ワンボックス		
軽自動車		

★ A：リアガラスに取り付ける

- 1 ブラケットに両面テープ（透明）を貼り付ける

- 2 本体にブラケットを装着する

 本体にブラケットを差し込み、付属のネジで固定してください。
- 3 ケーブルをブラケットのフックに挟み込んで固定する

- 4 リアガラス中央上部に貼り付ける（※1）

 △が車室内の中心部を向くように位置を調整してください。

※ 両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
 ※ リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、BまたはCの位置へ取り付けてください。

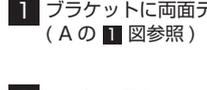
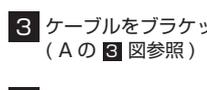
B：ルームミラーに取り付ける

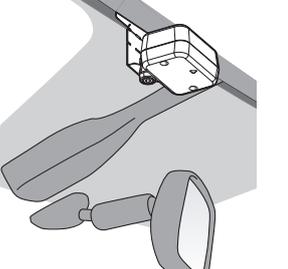
- 1 ブラケットに両面テープ（灰色）を貼り付ける（Aの1図参照）

- 2 ブラケットを調整する
 ① 真っ直ぐにする ② 90度折り曲げる

- 3 本体にブラケットを装着する（Aの2図参照）

- 4 ケーブルをブラケットのフックに挟み込んで固定する

- 5 ルームミラー鏡面より前（車室内側）になるようにルームミラー上部に貼り付ける（※1）

 △が車室内の中心部を向くように位置を調整してください。

※ ルームミラーの形状により取り付けできない場合は、AまたはCの位置へ取り付けてください。

C：フロントガラスと天井のすき間に取り付ける

- 1 ブラケットに両面テープ（灰色）を貼り付ける（Aの1図参照）

- 2 本体にブラケットを装着する（Aの2図参照）

- 3 ケーブルをブラケットのフックに挟み込んで固定する（Aの3図参照）

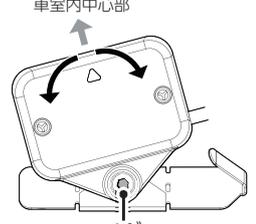
- 4 フロントガラス中央と天井のすき間に貼り付ける（※1）

 △が車室内の中心部を向くように位置を調整してください。

△が車室内の中心部を向くように位置を調整してください。

ガラス面（透明部分）には貼り付けしないでください。保安基準に適合しなくなり処罰の対象となります。

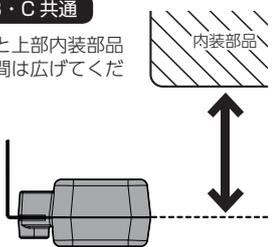
※ フロントガラスに黒線のない車両はAまたはBの位置へ取り付けてください。

※1
 ・中央付近に取り付けできない場合は、ネジを緩めて△が車室内の中心部を向くように調整し、ネジを締めて固定してください。

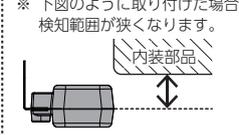


A・B・C 共通

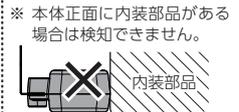
・本体と上部内装部品の空間は広げてください。



※ 下図のように取り付けた場合、検知範囲が狭くなります。

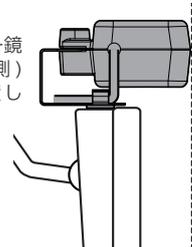


※ 本体正面に内装部品がある場合は検知できません。

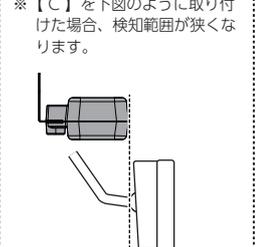


B・Cの場合

・本体はルームミラー鏡面より前（車室内側）になるように設置してください。

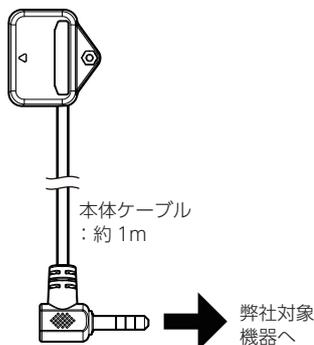


※【C】を下図のように取り付けた場合、検知範囲が狭くなります。



対象機器への接続

A：本体ケーブル



B：延長ケーブル

